

6 3 6 1 - 1 1 7 1
平成 2 2 年 8 月 2 7 日

各関係機関長
各病害虫防除員 様

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成 2 2 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号について

平成 2 2 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号を発表したので送付します。

平成 2 2 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号

1 病害虫名：アカマルカイガラムシ属の一種 *Aonidiella comperei* McKenzie

2 作物名：マンゴー

3 発生確認の経過

平成 2 2 年 6 月 1 0 日、中部地域の施設マンゴーの葉、枝及び果実に寄生するカイガラムシが認められ、中部農林振興局を通じて総合農業試験場及び病害虫防除・肥料検査センターに持ち込まれた。門司植物防疫所へ同定依頼したところ、国内未発生 of アカマルカイガラムシ属の一種 *Aonidiella comperei* McKenzie であることが確認された。

その後の調査で見湯地域でも本種の発生が認められた。

4 形態及び生態の特徴

形態：雌成虫の介殻は丸くなめらかで半透明の黄色であり、比較的もろい。雄成虫の介殻は雌成虫の介殻より小さく、淡黄色の卵型である。雌成虫の虫体は 1mm 前後で丸く、成熟すると腎臓型を呈する。

分布：インド、スリランカ、東南アジア、台湾など。

寄主植物：ミカン科、ブドウ科、ヤシ科、バンレイシ科など多食性である。

被害：他のマルカイガラムシと同様、葉、枝および果実を吸汁加害し、多発すると落葉し、生育を阻害することがある。

5 防除対策

現在、登録農薬はないため早期発見に努め、ブラシ等でこすり落とすなどの防除を行う。

剪定時には寄生部位を除去し、埋没等適切に処分する。

苗を導入する場合は、寄生に十分注意する。



写真1 枝への寄生



写真2 枝への寄生



写真3 葉への寄生

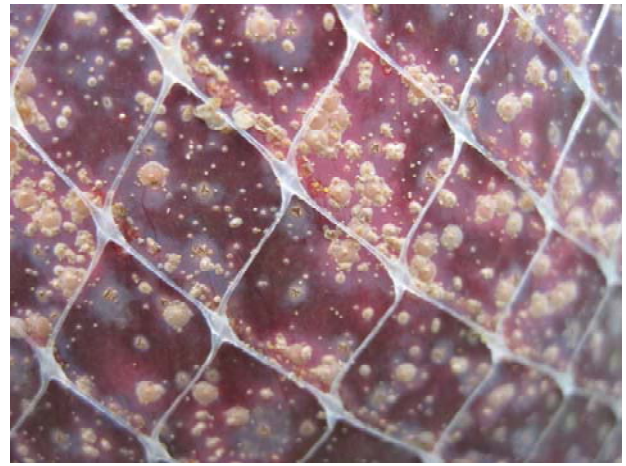


写真4 果実への寄生

《連絡先》

病虫害防除・肥料検査センター 邊見

TEL :0985-73-6670 FAX :0985-73-7499

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

ホームページ : <http://www.jpjn.ne.jp/miyazaki>